

# いわての林業人 34

はじめに

今回の普及班便りでは、岩手県林業改良普及協会平成24年度岩手県地域林業促進活動褒賞事業で表彰された三名の方々をご紹介します。

藤原長吉さん（釜石市）

○地域リーダーとして活躍

自ら11畝のスギ・ヒノキ林の造成・管理を行うかたわら、平成14年度に発足した釜石地区山火事防止ボランティアとして積極的に林野火災の未然防止に取り組んでいます。

また、昭和40年代に発生したマツノキハバチの共同防除による薬剤散布を提案し、地域ぐるみで森林害虫防除に取り組むなど、地域のリーダー的役割を担っています。

○地域の森林整備に尽力

88歳の高齢でなお、山仕事に精を出し、優良材生産を目指した意欲的な森林施業は地域の模範となるとともに、他の林業経営者への大きな刺激となっています。特に、枝打ちの必要性を地域に浸透させ、枝打ちを地域全体に広めたことは、大きな功績です。会社勤めの若い時代から、

自らスギ、ヒノキの植林・枝打ち・間伐などの森林整備に積極的に取り組んでいます。

また、所有森林を活用して、枝打ち・間伐講習会を開催し、地域の森林所有者に対して森林整備の重要性を指導・助言するなど、地域林業の振興に大きく貢献しています。

横田たけのこ生産組合（陸前高田市）

○北限のタケノコ生産・加工・流通体制を整備

平成23年11月に、陸前高田市横田地区のタケノコ生産の振興を図り、竹林整備や流通体制の確立をめざして、及川会長ほか16名で「横田たけのこ生産組合」を設立しました。地域の竹資源を活用した特産品づくりやタケノコ生産モデル林の造成・発環境整備を行っています。

また、調理研修や域外産直施設での販路拡大、加工・流通体制を確立して地域の特産品化を図っています。

○生産意欲の高揚と特用林産物生産促進に貢献

横田地区のタケノコ生産者は、地域の竹資源を活用した特産品づくりを平成21年度から実施しています。「北限のタケノコ」として良質なタケノコを生産し需要を拡大するため、県や関係団体と連携して、地域経営推進費を活用したタケノコ生産モデル林の造成、間伐作業、施肥作業などの発環境整備を行っています。

また、タケノコ調理研修や賞味期限設定試験などの加工、流通体制整備も行っています。

夏井嘉一郎さん（九戸村）

○NPO法人の理事長として森林環境教育に貢献

夏井氏は、森林林業教育事業やボランティアによる森林整備活動を通じて、二戸地域の持続的な発展に寄与するために設立された「特定非常利法人カシオペア森林塾」の理事長であり、森林活動の先駆者として、長年活躍しています。

また、平成18年度からは、「森の学校事業」及び「ジュニアフォレスト大作戦事業」を実施して、二戸地域の小学校を中心に毎年15校、児童数約七百名を対象として、次世代を担う子供達に自然の大切さや、自然環境教育に貢献しています。

○森林環境教育の現場で活躍

氏が好んで子供達に聞かせる話の一つに「雑木林の理論」があります。

「健全な林は背丈の低い草から背丈の高い木まで様々な植物が生え、大まかに四層に分かれている。それぞれに違う役割があり、要らない草木はない。」「人間も一緒、子供や父母祖父母など各世代などが助け合うのが健全な社会だ。これを教えるのは森林が一番。」「命の尊さ、助け合いの精神、自然との共生、山で子供達に教えることは山ほどある。」と語っています。最終目標は、あくまでも人づくり、「いわての人づくり」は山

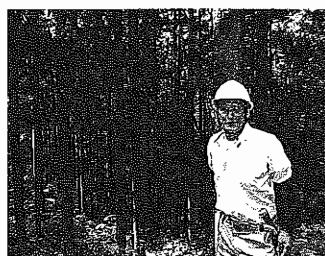
しかないとの持論で、80歳の高齢でなお、森林・林業の普及啓発に意欲的に取り組んでいます。

おわりに

普及班便りでは、これからも森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方がおられましたらご連絡ください。

林業技術センター 普及班  
019（698）1337



藤原長吉氏（釜石市）



横田たけのこ生産組合（陸前高田市）



夏井嘉一郎氏（九戸村）